

Press Release

4,507 枚の絵馬が、家族を COPD から守る！

- 世界 COPD デー(11 月 20 日)を前に、大切な家族を COPD から守るための願いを込めた絵馬を浅草神社に奉納！
- 「家族の肺の健康祈願コンテスト」入賞作品 3 作品を発表

2013 年 11 月 13 日 日本／東京

日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:青野吉晃、以下「日本ベーリンガーインゲルハイム」)は、主に長年の喫煙習慣によって引き起こされる肺の生活習慣病 COPD(慢性閉塞性肺疾患)の啓発を目的とした「家族の肺の健康祈願コンテスト」の入賞作品を決定しました。

「家族の肺の健康祈願コンテスト」は、日本ベーリンガーインゲルハイム主催、一般社団法人 GOLD 日本委員会後援の COPD 啓発キャンペーン「いきいきと毎日を～家族のために、家族とともに～」の一環として、8 月 1 日の肺の日から 10 月 10 日まで、啓発サイト「いきいき神社(<http://ikiiki-jinja.jp>)にて開催されました。コンテストでは、大切な家族(夫・父)の肺の健康を願う絵馬を募集し、数多くの絵馬がオンライン上のいきいき神社に奉納されました。

4,507 枚の絵馬の中から 3 枚の入賞作品を決定！

応募いただいた 4,507 枚の絵馬の中から、3 枚の絵馬を入賞作品に、100 枚の絵馬を佳作に決定しました。入賞作品は以下の通りです。

● 肺の健康賞

「COPD という病気、タバコを吸った経験がある人ならみんな可能性があるって知ってた？ 随分前にタバコはやめたけど、咳が多いのが気になります。一度チェックしませんか？」
るりこ



● ベーリンガーインゲルハイム賞

「たまに会うといつも咳をしているお父さん。『風邪がなかなか治らないんだ』と言うけれど COPD ではないかと心配です。一度検査をして皆を安心させてください。」
健康第一



2013年11月13日

ベーリンガーインゲルハイム ジャパン株式会社
広報部

東京都品川区大崎2-1-1

ThinkPark Tower

Tel: 03-6417-2145

Fax: 03-5435-2926



当プレスリリースは、弊社HPからも
ご覧になれます。

www.boehringer-ingelheim.co.jp

- いきいき神社賞

「お父さん、COPD 知っていますか？ずっと長生きしてほしいから一度検査してほしいな。いつか一緒にマラソン大会に出る約束、叶う日が来ることを願っています。」

sae ママ



「肺の健康賞」を審査した GOLD 日本委員会の代表理事の福地義之助先生は、入賞作品について以下の通りコメントしています。

「COPD という病気についてしっかりと伝えており、またチェックをしませんか？とアクションを促している点が素晴らしいと思います。COPD は自分では気付にくい病気ですので、るりこさんのように、家族に気になる症状がある場合には指摘し、検査を促すことが非常に重要です。るりこさんの願いがご家族に届き、COPD の早期発見、治療を通じて、いきいきとした毎日を過ごすことができるよう、お祈りしています」

キャンペーンを主催した日本ベーリンガーインゲルハイム呼吸器領域マーケティング部部長のジェイソン・ヤングは、「いきいき神社の COPD 啓発キャンペーンを通じ、たくさんの方がオンラインで行動を起こし、大切な家族とコミュニケーションを持たれたことを、とても嬉しく思います。このキャンペーンが、呼吸器疾患を患っている日本の患者さんが適切な治療受けられるきっかけになることを期待しています。」

コンテストに応募いただいた絵馬を浅草神社に奉納！

コンテストに寄せられた家族の肺の健康を願う絵馬は、COPD 啓発キャンペーン第 2 弾開始時に「家族の肺の健康セミナー」を開催した浅草神社(東京都台東区)に、11 月 6 日に奉納され、応募いただいた皆さんとご家族の肺の健康が祈願されました。(詳細は別紙1を参照)

また本キャンペーンでは、より多くの方に COPD について知っていただくため、ソーシャルメディアにてキャンペーン情報を 1 回シェアしていただくごとに、12 円(ポリオワクチン 1 本分相当額)をユニセフに寄付する活動を行いました。コンテスト期間中、合計 6,349 件のシェアがありましたので、キャンペーン事務局からの寄付も含め、10 万円(ポリオワクチン 830 本分に相当額)をユニセフに寄付しました。

なお、キャンペーンサイト「いきいき神社」では、コンテスト終了後も、家族の肺の健康を祈願する絵馬を奉納することができます。

COPDについて

COPD は、主に長年の喫煙習慣が原因で発症し、呼吸機能が低下していく肺の病気です。以前は「慢性気管支炎」、「肺気腫」と別々に呼ばれていましたが、この 2 つを総称して「COPD(慢性閉塞性肺疾患)」と呼ばれています。日本には約 530 万人の患者さんがいると言われ(NICE study 2001)、厚生労働省の統計によると年間約 17,000 人が COPD によって死亡しており、日本人男性の死因の第 7 位となっています。COPD の症状として、咳、痰、息切れがありますが、咳や痰は風邪のせい、息切れは歳のせい、と思われがちであり、症状が見過ごされているのが現状です。治療せず放置すると進行していき、日常生活に支障を来し、重症化して死に至ることもあるため、早期発見、早期治療が非常に重要です。

ベーリンガーインゲルハイムについて

ベーリンガーインゲルハイムグループは、世界でトップ 20 の製薬企業の 1 つです。ドイツのインゲルハイムを本拠とし、世界で 140 の関連会社と 46,000 人以上の社員が、事業を展開しています。1885 年の設立以来、株式公開をしない企業形態の特色を生かしながら、臨床的価値の高いヒト用医薬品および動物薬の研究開発、製造、販売に注力してきました。

ベーリンガーインゲルハイムにとって、社会的責任を果たすことは、企業文化の最も重要な柱です。事業を展開する世界の国々において、社会問題に取り組み、社員とその家族を思いやり、全社員に平等な機会を提供することが、ベーリンガーインゲルハイムの基盤です。そして、尊重と誠実を重んじ、環境保護と持続可能な社会の実現に向けて貢献することが、ベーリンガーインゲルハイムの本質であり使命です。

2012 年度は 147 億ユーロ(約 1 兆 5,086 億円)の売上を示しました。革新的な医薬品を世に送り出すべく、医療用医薬品事業の売上の 22.5%相当額を研究開発に投資しました。

日本ではベーリンガーインゲルハイム ジャパン株式会社が持ち株会社として、その傘下にある完全子会社の日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社(医療用医薬品)、エスエス製薬株式会社(一般用医薬品)、ベーリンガーインゲルハイム ベトメディカ ジャパン株式会社(動物用医薬品)、ベーリンガーインゲルハイム製薬株式会社(医薬品製造)の 4 つの事業会社を統括しています。

日本ベーリンガーインゲルハイムは、呼吸器、循環器、中枢神経などの疾患領域で革新的な医療用医薬品を提供しています。

詳細は下記をご参照ください。

<http://www.boehringer-ingelheim.co.jp>

一般社団法人 GOLD 日本委員会について

一般社団法人 GOLD 日本委員会は、慢性閉塞性肺疾患(COPD)に関する正しい知識の普及を通じて国民の健康増進に寄与することを目的に、順天堂大学呼吸器内科客員教授 福地義之助らが中心となって、2012年10月9日に設立されました。

日本での GOLD の活動は、GOLD が最初のガイドライン (COPD の予防、診断、治療に関する Workshop Report) を発表した 2002 年にスタートし、2004 年に「世界 COPD デー推進日本委員会」、2007 年に「GOLD 日本委員会」を組織して COPD の啓発活動に取り組んできました。本年、厚生労働省が、「21 世紀における第二次国民健康づくり運動(健康日本 21: 第二次)」で COPD の認知度向上(平成 34 年度までに国民の認知度を 80% にすること)を目標として掲げ、国を挙げて COPD の認知率向上に取り組む方針を示したことを受け、より公的な団体として活動の幅を広げるため、一般社団法人 GOLD 日本委員会として再スタートしました。

一般社団法人 GOLD 日本委員会の詳細についてはホームページをご参照ください。

<http://www.gold-jac.jp/>

お問い合わせ先:

ベーリンガーインゲルハイム ジャパン株式会社
広報部

Tel. 03-6417-2145

Fax. 03-5435-2926

<別紙1>

コンテストに応募いただいた絵馬を浅草神社に奉納！

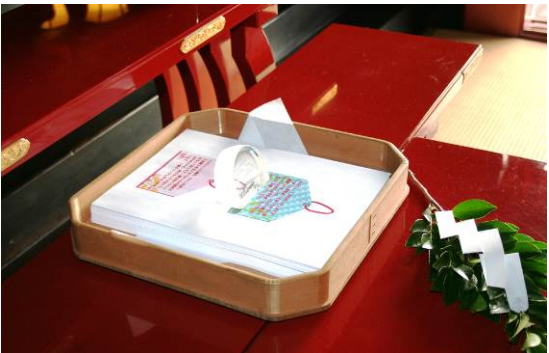
コンテストに寄せられた絵馬は、11月6日に、浅草神社(東京都台東区)に奉納し、応募いただいた皆様とご家族の肺の健康をお祈りしました。



大切な家族をCOPDから守るために、いきいき神社に寄せられた絵馬。



COPD啓発キャンペーン事務局が代表して、実際に絵馬を浅草神社に奉納してきました！



皆さんの願いが叶い、ご家族の肺が健康で、いきいきとした毎日を過ごすことができますように…

「いきいき神社」について

「いきいき神社」とは、身近に潜む疾患ながら、あまり知られていない病気「COPD」について、皆さんに知っていただき、絵馬の奉納を通じて、大切な家族を COPD から守っていただくことを目的とした、COPD 啓発サイトです。いきいき神社では、Facebook と Twitter にて公式アカウントを設置し、家族の健康を願う心のもった絵馬や COPD に関する情報などを随時発信していきます。

Facebook アカウント: <http://www.facebook.com/ikiikijinja/>

Twitter アカウント: <http://twitter.com/ikiikijinja/>

問い合わせ: COPD 啓発キャンペーン事務局 info@ikiiki-jinja.jp

「浅草神社」について

浅草神社は、浅草寺の敷地内に位置する神社で、家内安全、商売繁盛のほか病気平癒など幅広い御利益があります。別名「三社さま」と呼ばれ、毎年 5 月に行われる三社祭は毎年 150 万人を超えるほどの参拝客で大賑わいとなります。

この度、いきいき神社の趣旨(家族の健康を祈願し、大切な家族を COPD から守ること)にご賛同いただき、家族の縁結び(絆)や病気平癒に御利益のある神社として、ご協力をいただくこととなりました。

浅草神社神主である矢野氏は今回の協力にあたり、「COPD の患者は増え続け世界的にも問題になっています。多くの方にこの病気を知って頂き、苦しむ方が少しでも減ってくれればと思います。」とコメントしています。

<浅草神社 由緒>

浅草神社の由緒は、628 年(推古 36 年)3 月 18 日にまでさかのぼります。隅田川で漁師をしていた桧前浜成、桧前竹成の兄弟が網を打つと、魚はかからず、人型の像がかかりました。これを当時、郷土の文化人であった土師真中知に見せたところ、聖観世音菩薩の尊像であることが分かり、3 人はこの観音様をまつことにしました。これが浅草観音こと浅草寺の始まりです。観音様をまつてから、桧前兄弟が豊漁に恵まれたことから商売繁盛の御利益が広まりました。

観音様をまつり、多くの人たちに御利益を施した 3 人の功績をたたえて、土師真中知命(はじのまつちのみこと)、桧前浜成命(ひのくまのはまなりのみこと)、桧前竹成命(ひのくまのたけなりのみこと)の三社権現と称し祀ったのが、三社権現社(浅草神社)の始まりであるとされています。